

令和3年度

社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会

事業報告

令和3年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく 組織体制の基盤強化	1
2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画 に基づく重点事業	2

II 事業報告

1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業の推進	7
3. 相談援助事業の実施	9
4. 福祉資金貸付業務の実施	10
5. ボランティア事業の推進	11
6. 自動販売機設置経営事業の実施	15
7. 市委託事業の受託経営	15
8. 指定管理事業の受託経営	17
9. その他社協関連事業	26

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇第29期役員及び第28期評議員の選任

第28期役員及び第27期評議員の任期満了に伴い、第29期役員及び第28期評議員の選任を適正に行いました。

◇専門家による財務会計に関する事務処理体制の強化

会計監査人の監査に準ずる監査の実施、並びに、厚労省推奨の専門家による支援のうち、税理士が行う「財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援業務」及び「税務業務」を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇運営体制の強化

事業評価制度に基づき、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性など検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。

◇PR力の強化

福祉の啓発も含め、本会の活動をより多くの方々に知ってもらうために広報紙の紙面の充実、QRコードの活用その他ツイッターやYouTubeなどで情報の発信を行いました。

(2) 人材育成の取組み

◇人材育成指針の策定

法人として求める職員像と目指すべき職員像を明確にするとともに、その実現のための手法や考え方をまとめた人材育成指針策定に向けて、調査・検討を行いました。

◇キャリアデザインの体系化

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、必要に応じて、職員面談を実施しました。

◇職員研修制度の充実

オンライン研修等を積極的に取り入れ、コロナ禍においても職員が研修を受講しやすい体制を整えました。

(3) 財政基盤の強化

◇経費の有効活用

経費削減マニュアルの見直しとともに、サービスの質を高めつつ、限られた財源の中で有効活用を意識しながら、部署ごとに経費削減チェックリストの削減項目を設定するなど、組織的に経費削減に取り組みました。

◇財源の確保

地域住民に本会の取組みを広報宣伝することにより、認知度を上げるとともに募金活動の理解につなげるための方策について、他市社協の取組みなど調査研究を行いました。

(4) 指定管理事業の継続的確保

◇各指定管理事業の次期再指定に向けての提案の実施

2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【基本目標1】

市民の暮らしを支える仕組みづくり

◇地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

各関係機関と情報交換、また福祉団体や関係者(保健・医療・福祉・教育等)と抱えている課題や現状について意見交換を行い、連携を図りました。また、住民参加型在宅福祉サービス(あいはあと事業)の支援事例を集約し、地域の状況把握を行いました。

◇相談支援体制の充実

福祉に関する様々な相談(児童、高齢者、障害者、就労、ひきこもり、生活困窮、権利擁護等)に対応するとともに、各専門機関と連携し支援を行いました。

また、ボランティア活動希望者の相談を受け、福祉団体、施設等の情報を提供し、活動につながるようコーディネートを行いました。

◇保健医療・社会福祉サービスの充実

介護、障害者支援等の専門機関同士がそれぞれの活動や機能を十分に理解し、支援体制を構築していけるよう研修会を開催しました。多くの関係機関が参加し、連携及び資質向上に向け、関係を築きました。

◇権利擁護の推進

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業(あんしんサポートねっと)の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

その他、施設でのポスター掲示や社協主催の講座などで権利擁護に関する取組みの周知啓発を行いました。

◇生活困窮者等への支援の充実

相談者の生活状況を把握し、生活福祉資金貸付だけではなく、他機関による資源(生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等)の情報提供を通して生活再建できるよう支援しました。また、食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行ったほか、市民や企業から食料品等の寄付、寄贈を受け付け、生活困窮者への支援を行いました。

◇地域住民の交流の促進

各施設で新型コロナウイルス感染症対策を講じ、交流事業を実施しました。また、ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会などの活動団体の運営を支援するため、助成金の交付を行いました。また、多様な国籍・文化によって価値観が違い、困りごとが多様化しているため、外国人支援について支援団体から学ぶ機会を設けました。

【基本目標2】

思いやりと支え合いの心づくり

◇地域福祉に関する理解と参加の促進

地域福祉の担い手の育成、福祉活動への参加支援として各施設で実習生やボランティアの受け入れを行いました。また、出前講座やサロン活動サポート会などを実施し、地域で活躍している団体の活動支援を行いました。

その他、住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」を開始し、地域の支え合い活動の促進を図りました。

◇支え合い・助け合いの気持ちの醸成

近隣4市（朝霞市、和光市、志木市、新座市）のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催しました。その他、各小学校で福祉教育を実施し、支え合い、助け合いの気持ちの醸成を図りました。

◇地域での見守りの充実

あいはあと事業新規協力会員向け講習会を実施し、地域住民同士が顔の見える関係を築き、地域住民が主体となって見守り活動を行うことの必要性への理解を深めました。また、関係機関にチラシやパンフレットを配布し、あいはあと事業および見守り活動の周知啓発を行いました。

◇情報共有・発信の充実

広報紙「社協あさか」、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブなどの情報媒体を活用し、情報の提供を行いました。また、情報が行き届くよう商業施設等に働きかけ、広報紙の設置場所拡大に努めました。

◇地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

コロナ禍にあっても工夫しながら継続する地域の福祉活動団体に対し、相談支援を行ったほか、募金や会費を財源とする助成金を交付して活動をサポートしました。また、手話やボランティアに関する講座を通して、地域福祉を支える人材の育成に取り組みました。

【基本目標3】

安心して暮らしやすい地域づくり

◇施設等の整備・充実

既存の公共施設の他にも地域の人が集うことができる場について、商業施設等と関係づくりを進めながら情報収集を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、利用者が安心・安全に利用できるように日頃から点検や修繕を行いました。

◇防災対策の充実

本会が管理運営する全ての施設において、定期的に利用者の特性に応じた防災訓練を行いました。また、災害発生時の活動に備え、民間企業とボランティア活動等に関する協定を締結しました。

◇防犯対策の充実

本会が管理運営する施設では、利用対象者に応じた内容で注意喚起を行ったほか、住民に対しては警察署との協定に基づく地域防犯ニュースをツイッターで配信し、防犯意識の啓発を図りました。

◇外出・移動の支援

外出や移動に困難を抱えている人に対し、車いすを貸し出したほか、あいはいと事業において外出同行支援を行いました。

◇住まいの確保等への支援

住まいの確保に困難を抱えている人の相談に応じ、各種制度に関する情報を提供したほか、生活福祉資金貸付の案内を行いました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定め、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

また、ホームページやツイッター等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、働き方改革関連法に基づき、職員が安心・安全に業務に従事できるよう魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和3年第3回	令和 3年 6月 1日	9人 (監事2人含む)	令和2年度事業報告等 8議案
令和3年第4回	令和 3年 6月17日	11人 (監事2人含む)	会長の選定等 4議案
令和3年第5回	令和 3年 9月10日	10人	補正予算等 2議案(書面決議)
令和4年第1回	令和 4年 2月 9日	10人	補正予算等 3議案(書面決議)
令和4年第2回	令和 4年 3月22日	9人	事業計画等 19議案(書面決議)

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和3年第3回	令和 3年 6月16日	14人	令和2年度事業報告等 5議案
令和3年第4回	令和 3年 9月29日	22人	補正予算 1議案（書面決議）
令和4年第1回	令和 4年 3月10日	22人	補正予算等 2議案（書面決議）
令和4年第2回	令和 4年 3月31日	22人	令和4年度事業計画等 6議案（書面決議）

○正副会長会議

- 理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。
- ・開催回数：1回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和3年 5月27日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」7月号（No.183）の編集発行について
令和3年度社協会員募集について
つながる朝霞で私たちも元気（チラシ）について
- ・第2回：令和3年 8月25日 中止
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、緊急事態宣言期間のため
- ・第3回：令和3年11月26日（出席者5人）
令和3年度社協会員募集の進捗状況について
広報媒体有料広告の掲載の取扱いに関する要綱について
広報紙「社協あさか」1月号（No.185）について
- ・第4回：令和4年 2月25日 中止
新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、まん延防止等重点措置期間のため

○企画委員会

- ・第1回：書面にて開催（意見聴取）
事務事業評価について
- ・第2回：書面にて開催（意見聴取）
次期指定管理事業について
第4期地域福祉活動計画の推進について
福祉団体助成金について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和3年 6月 1日（出席者4人）
第28期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

- 決算監査：令和3年 5月18日
令和2年度業務監査及び会計監査
- 中間監査：令和3年11月18日
令和3年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会を設け、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『ともに生きる豊かな地域社会「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づき事業を展開、実施しました。

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とツイッターやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

- 広報紙「社協あさか」の発行
 - ・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】
 - ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
 - ・発行部数：35,500部/回

○情報発信

	令和3年度	平成2年度
ツイッター	988件	811件
フェイスブック	794件	714件
ユーチューブ	70件	70件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや伝達研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

◇るくるん募金箱設置の推進

るくるん募金箱設置の周知・啓発を行い、新たな設置先を開拓しました。

【寄付金実績報告】

※るくるん募金箱設置か所：12か所（令和3年度末現在）

	令和3年度	令和2年度
個人	延べ10件 267,034円	延べ16件 611,242円
団体	延べ28件 381,144円	延べ6件 264,501円
るくるん募金	12か所 46,475円	10か所 31,585円
合計	694,653円	907,328円

2. 地域福祉事業の推進

地域で支え合える仕組みがつくれるよう、住民の方々と一緒に地域住民が抱えている問題への取り組みを行うとともに、地域で活動している地域福祉活動団体に対し、相談支援、福祉情報の発信、助成金の交付など、活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

社協活動への理解と参加の促進、及び自主財源の確保のため、地域住民、自治会・町内会、市内外事業所に周知・啓発を行い、会員の募集を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自治会・町内会向け説明会を午前と午後の2回に分けて実施しました。

(一般会員500円以上、賛助会員1,000円以上、特別会員5,000円以上)

○実施期間：令和3年7月1日～令和4年3月31日

○目標額：8,000,000円

○実績額：7,174,596円

○加入状況内訳 ※（）内は、振込による加入

	令和3年度	令和2年度
一般会員	3,607世帯 (0)	3,526世帯 (3)
賛助会員	339世帯 (14)	330世帯 (13)
特別会員	192世帯 (85)	177世帯 (64)
500円未満	2,058世帯	1,610世帯

【社協会員募集説明会】

○対象者：自治会・町内会長

○期日：令和3年6月9日 ①午前10時 ②午後2時

○場所：朝霞市総合福祉センターはあとぴあ

○参加者：合計23人

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和3年度	令和2年度
一般募金配分金	3,333,000円	3,370,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,435,000円	3,660,000円

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和3年度	令和2年度
交付先	自治会・町内会 62団体	自治会・町内会 64団体
助成金額	2,217,590円	2,243,760円

◇第3期地域福祉活動計画の報告

第3期地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度）の活動報告を広報紙「社協あさか」に掲載し、広く市民に向け周知を行いました。

◇第4期地域福祉活動計画の進行・管理

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。

（詳細は2～4ページ参照）

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の策定及び推進に関し必要な事項を市地域福祉計画と一体的に審議するため、朝霞市地域福祉計画推進委員会の理解を得て、同様の構成員（18人）による朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和3年12月24日	朝霞市総合福祉センター	16人

◇第4期地域福祉活動計画に係る職員向け研修会

- 期 日：令和3年7月21日
- 講 師：指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センター 石井ナナエ理事
- 内 容：外国人支援に関する研修会
- 参加者：16人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

サロン活動サポート会を開催し、サロンの活動者同士が顔を合わせて話ができる場を設け、活動継続・再開や団体が抱えている課題について意見交換を行いました。また、地域福祉活動団体の活動情報などを社協ホームページやツイッターで周知するなど、活動支援を行いました。

【サロン活動サポート会】

地域で活動するふれあい・いきいきサロンの支援として、サロン活動サポート会を開催し、サロン団体同士顔の見える関係作り、サロン活動について意見交換会を行いました。また、地域福祉活動助成金の説明を行いました。

	期 日	場 所	参加者
第1・2回	令和3年4月9日	朝霞市総合福祉センター	9人
第3回	令和3年4月22日	コミュニティセンター（中央公民館）	3人
第4回	令和3年4月27日	朝志ヶ丘高齢者地域交流室	4人
第5回	令和3年5月12日	朝霞市総合福祉センター	1人

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和3年度	令和2年度
団体数	33団体	34団体
助成金額	886,967円	1,139,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和3年度	令和2年度
団体数	7団体	9団体
助成金額	175,800円	250,000円

○歳末援護金

	令和3年度	令和2年度
団体数	18団体	21団体
助成金額	178,000円	310,000円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協の活動」や「障害福祉サービスについての理解」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、申請のあった講座のうち2回が中止になりました。

	令和3年度	令和2年度
実施回数	11回	5回

◇新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援

【年末の生活困窮者等に対する臨時相談窓口】

○期 間：令和3年12月29日～令和3年12月31日

○相談支援：2件 ○食材支援：3件

【ひとり親家庭等に対する食材支援】

○期 間：令和3年10月1日～令和3年12月19日 ○食材支援：30世帯

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和3年度	令和2年度
生活支援員	7人	5人
活動日数	延べ90日	延べ124日
相談件数	延べ539件	延べ573件
利用契約者	8人(認知症高齢者4人、知的障害者3人、精神障害者1人)	9人(認知症高齢者4人、知的障害者4人、その他1人)

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページやツイッター、広報紙「社協あさか」にサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員養成研修の実施

福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動してくださる方や、将来的に法人後見業務を担う市民後見人として活動してくださる方を養成することを目的に開催しました。

○期 日：①令和3年9月 2日

②令和3年9月13日

③令和3年9月22日

○場 所：朝霞市総合福祉センター（オンライン参加も可）

○参加人数：延べ88人（内訳：①32人、②27人、③29人）

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：30件（高齢者・障害者関係、ひきこもり、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：29件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和3年度	令和2年度
貸出回数	29件	30件

4. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和3年度	令和2年度
貸付相談	延べ159件	延べ108件
貸付件数	12件	6件
償還指導	44件	40件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和3年度	令和2年度
貸付相談	延べ26件	延べ22件
貸付件数	10件	10件
償還指導	19件	19件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金にお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を令和2年3月25日から実施しました。

○貸付相談：延べ 2,989件 ※令和3年4月1日～令和4年3月31日

○貸付件数：緊急小口資金 369件
総合支援資金 286件
総合支援資金（再貸付） 319件

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった世帯、および新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯のうち緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員に代行して食材支援を実施しました。

	令和3年度	令和2年度
福祉資金貸付事業相談	延べ3,174件	延べ4,020件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	34人	5人

5. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和3年度	令和2年度
個人	433人	41人
団体	365人（27団体）	346人（30団体）

○相談件数

	令和3年度	令和2年度
相談件数	延べ106件	延べ75件

○団体利用室利用状況

	令和3年度	令和2年度
登録団体	13団体	25団体
利用件数	延べ20件	延べ25件

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

ボランティア情報を必要としている人へ情報が届くよう、ボランティア登録をした人にボランティアニュースを送付しました。

・発行回数：年3回（7月、12月、3月/1回2,000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等に配布、情報の発信を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

新型コロナウイルス感染症の感染が収束していない中での開催となったため、オンラインと各市社協で会場を設け実施しました。（当番市：新座市）

○対象者：朝霞地区四市で福祉教育に携わる教職員及びボランティア等

○実施日：令和3年8月5日・6日 両日とも午前10時～12時

○場 所：オンライン（ZOOM）及び各市社協会場

○内 容：1日目 社協の取組について、当事者講演（肢体不自由、聴覚障害）

2日目 講義「より効果的な福祉体験学習を実施するために」

講師 東京国際大学 人間社会学部 教授 松本 すみ子氏

○参加者

	令和3年度	令和2年度
四市合計	80人（延べ100人）	中止
朝霞市内	14人（延べ18人）	

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。また、4月に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を各小中学校へ送付し、福祉教育の啓発に努めました。今年度、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため、緊急事態宣言発出中とまん延防止等重点措置の対象地域になっている間は福祉教育の実施方法を変更し、学校での実施はしないこととしました。その間、福祉についての事前学習を学校で進められるよう、DVDを作成し貸出を行いました。

○依頼件数

	令和3年度	令和2年度
延べ件数	38件	65件
小学校	10校	9校+中学校1校

- 内 容：福祉について、体験学習（車いす・アイマスク・手話）
講演「視覚障害者への理解」
- 福祉教育用機器貸出件数：26件（DVD、車いす・アイマスク・点字盤等）

◇地域福祉活動の担い手の育成

コロナ禍における活動について、不安を抱えている活動者が多いことをふまえ、サロン活動サポート会を実施しました

また、“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の協力員養成講座を開催しました。

（詳細は下記あいはあと事業参照）

◇ボランティア講座の開催及び活動者の支援

コロナ禍における活動について、不安を抱えている活動者が多いことをふまえ、サロン活動サポート会を実施しました。災害ボランティア講座を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月に延期しました。

（詳細は〇〇ページ参照）※地域福祉活動団体との連携・活動支援のところに詳細あり。

◇ボランティア体験プログラムの実施

新型コロナウイルス感染症が収束していない状況下でしたが、参加者や受入施設が安心できるよう、参加者には活動日2週間前からの体調管理（チェックシート作成）と、活動日当日には、新型コロナウイルス感染症に関する確認票を記入し活動先に提出してもらい、事業を実施しました。また、事前の説明会は、密を避けるために、2回実施しました。

- 対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者
- 期 間：令和3年7月～9月
- 場 所：市内各福祉施設等
- 参加者：延べ56人（令和2年度 延べ5人）

【説明会】

- 実施日：令和3年7月10日 午後2回実施
 - 参加者：22人
- ※説明会に都合がつかず、個別に説明：27人

◇災害ボランティアセンター設置訓練の実施

災害ボランティア講座を令和4年2月に実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5月に延期しました。また、平時からの準備として、共募配分金を活用し、災害ボランティアセンター資機材の充実を図りました。ほかに、第一生命保険株式会社浦和支社と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」を締結しました。

◇住民参加型在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

ホームクリーニング事業とふれあいサービス事業を統合し、より拡充させた新事業として“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業を令和3年4月より開始しました。また、新規協力会員向け講習会を開催し、地域の担い手として活躍する人材を増やすことで、

利用会員のニーズに応えられる体制を整えました。同時に関係機関の専門職・支援者をはじめ本会職員にも本事業を理解してもらうことで、支援を要する方への情報提供が図れるようにしました。

【活動実績】

	令和3年度	令和2年度
相談件数	157件	—
利用会員数	101人 (定期36人 単発65人)	—
利用会員内訳	高齢者75人 障害者17人 子育て 5人 その他 4人	—
協力会員数	89人	—
利用・活動日数	延べ599日	—
利用・活動時間	延べ797時間45分	—

【新規協力会員向け講習会】

- 開催日：令和3年4月2日～12月7日 毎月1回開催
- 開催回数：9回
- 開催方法：会場説明・個別説明（総合福祉センター）・オンライン説明
- 参加人数：97人（会場36人、個別説明7人・オンライン54人）
- 参加者内訳：一般市民50人、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所8人
市役所職員10人、社協職員29人

◇オリンピック・パラリンピック 地元ボランティア活動支援

おもてなしボランティア説明会では、ボランティア活動保険の受付を行いました。朝霞市おもてなしボランティア登録者と都市ボランティアを対象にした、ボランティア交流会においては、ボランティアセンターブースを設けたほか、動画においてボランティアセンターの紹介を行いました。

【おもてなしボランティア説明会】

- ボランティア活動保険の受付
- 開催日：令和3年5月21日、22日
- 場 所：朝霞市民会館 ゆめぱれす
- 参加者：303人

【ボランティア交流会】

- 開催日：令和4年1月29日
- 場 所：中央公民館・コミュニティセンター
- 参加者：62名

6. 自動販売機設置経営事業の実施

◇自動販売機設置経営事業

収益金を地域福祉の増進に役立てるため、自動販売機設置経営事業を実施しました。また、収入が減少傾向にあることから、継続的な財源確保について調査・研究を行っていくこととなり、本事業は廃止しました。

○自動証明写真機：1台（市役所庁舎）

収益金：172,122円

○小型玩具自動販売機（ガチャガチャ）：2台（朝霞市総合福祉センター）

新型コロナウイルス感染症予防のため、常設設置は行わず不定期の菓子販売を実施。

菓子販売：9回

収益金：32,804円

○飲料用自動販売機：3台（テイ・エステック（株）、JAあさか野）

収益金：57,319円

○収益金：合計262,245円（令和2年度 285,768円）

7. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和3年度	令和2年度
依頼件数	501件	455件
派遣件数	479件 (個人388件・自治体42件・学校18件・団体31件)	423件 (個人335件・自治体21件・学校29件・団体38件)
派遣人数	延べ567人 (専任延べ224人・登録延べ309人・他機関派遣協力34人)	延べ464人 (専任延べ228人・登録延べ210人・他機関派遣協力26人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
養成	令和3年4月 ～令和4年3月	8人	寺澤英弥氏 海野和子氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者
養成・後半	令和3年4月 ～令和3年7月	4人	越後 節子氏 (埼玉県聴覚障害者協会) 杉本暁史氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者
入門	令和3年10月 ～令和4年3月	8人	戸田康之氏 (朝霞市聴覚障害者協会)	あさか手話サークル あじさい

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- 期 日：令和3年9月4日
- 受 験 者：2人
- 合 格 者：1人

◇手話体験会

- 期 日：令和3年7月29日・8月5日・12日・26日
- 参 加 者：11人

◇朝霞市（手話通訳者等派遣事務所）主催講演会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、まん延防止等重点措置期間のため中止

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和4年3月5日
- 講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
- 受 講 者：7人

（2）一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の影響により自粛生活が長引き、高齢者のフレイル（虚弱な状態）の加速が心配されているため、市内病院のリハビリ専門職と連携しフレイル予防体操講座を実施しました。

また、引き続き実施した『ノルディック・ウォーク教室』、『太極拳教室』、『切り絵講座』から新たな自主グループが立ち上がり、浜崎・溝沼両老人福祉センター、さらに各市民センター、各公民館を拠点とした住民主体の通いの場の創出、および継続支援を実施しました。

令和3年度	期間	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (連続講座)	4月～6月 10月～12月	8回 8回	237人
ノルディック・ウォーク フォローアップ教室	11月～3月	10回	141人
健康太極拳教室 アシスタント養成講座	8月～9月	10回	31人
健康太極拳教室 (連続講座)	9月～3月	24回	628人
切り絵体験教室	7月	1回	10人
切り絵講座 (連続講座)	5月～7月 9月～11月	6回 5回	121人

生活リハビリ講座 (フレイル予防体操講座)	9月	4回	61人
自宅でも簡単にできる運動講座 (フレイル予防体操講座)	2月	1回	27人
各自主グループ継続支援 (ノルディック・太極拳・切り絵・生活リハ)	随時実施	131回	1599人
各種講座 (気功、手芸、ヒートショック予防)	随時実施	7回	99人
健康相談	6月、1月	3回	40人
老人クラブ支援	随時実施	30回	471人

8. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和3年度	令和2年度
開館日数	292日	243日
共用施設利用状況	542件	512件
利用人数	延べ4,525人	延べ4,717人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室

○消防設備実地訓練・避難訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 令和3年9月28日 参加者：102人（地震・火災想定避難訓練）
令和3年9月30日 参加者：20人（消防設備実地訓練）
- ・第2回 令和4年2月9日 参加者：18人（消防設備実地訓練）
令和4年2月16日 参加者：88人（地震・火災想定避難訓練）

○はあとびあふれあい祭り

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止としました。

【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スノーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部、社会参加活動の自粛や中止などが生じましたが、作業所内における感染症対策を講じつつ、事業内容の見直しを図るなど、事業の実施に努めました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	令和3年度		令和2年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	32人	36人	33人
就労継続支援B型	44人	30人	44人	30人
合計	80人	62人	80人	63人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和3年度		令和2年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
15社 社協3部署	2,437,455円	17社 社協3部署	2,233,942円	食品容器シール貼り、熱処理 部品スプリング通し、封入封 緘、タオル・靴下ストックン グ返し作業、景品封入れ、バ スマットクリーニング及び 交換作業等

○社会参加活動

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
自主製作品展示販売会（一部変更）、 （株）リゾン・コミュニティスペース「ライブ リーサロン」への自主製品等の展示	児童館祭り喫茶参加、地域サロン活動等

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和3年度		令和2年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,746,579円	ふれあい	4,746,579円
朝霞駅南口広場	885,500円	朝霞駅南口広場	885,500円
朝霞市役所庁舎内	60,390円	朝霞市役所庁舎内	60,390円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和3年度			令和2年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
185日	1,221人	427,020円	118日	1,027人	468,210円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和3年度			令和2年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
168日	2,357人	1,827,220円	127日	1,926人	1,422,051円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
市役所（一部変更）	地域包括支援センター・モーニングパーク

⑧カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和3年度			令和2年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
16日	228人	673,004円	42日	856人	710,532円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
保護者懇談会、個別面談、避難訓練（地震、火災、水害を想定し、避難所への避難を想定した訓練も実施）、日帰り課外体験代替事業、誕生日会（一部変更）、社会生活力事業（一部変更）	保護者交流会、赤い羽根共同募金街頭募金、朝霞市ふれあいスポーツ大会、彩夏祭「鳴子踊り」、はあとぴあふれあい祭り

⑩保健衛生

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
利用者健康診断、精神科健診、歯科検診（一部変更）、内科検診、生活習慣病予防事業（一部変更）、等	なし

⑪ボランティアの受入

令和3年度		令和2年度	
受入人数	0人	受入人数	0人
活動内容	なし	活動内容	なし

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月から受入れを停止しています。

【はあとぴあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での余暇支援事業ができなかったため、登録者を対象に就業生活についてのアンケート調査を行ない、その結果を当会ホームページ等で公開することによって就業生活の充実につなげました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和3年度	登録者	45人	112人	202人	13人	372人
	就職者	5人	7人	9人	0人	21人
令和2年度	登録者	42人	104人	191人	11人	348人
	就職者	3人	6人	16人	0人	27人

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務	1人	4人	6人	0人
清掃	1人	2人	3人	0人
軽作業	1人	1人	0人	0人
福祉	2人	0人	0人	0人
計	5人	7人	9人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	25件 (令和2年度19件)	雇用相談	延べ 762件 (令和2年度延べ773件)
調査研究・普及啓発	延べ 20件 (令和2年度延べ11件)	関係機関との連携	延べ 863件 (令和2年度延べ876件)

○余暇支援事業

余暇支援アンケート調査

【はあとぴあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体状況、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和3年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。これにより、情報提供と日ごろからの連携の必要性を共有することができました。

○障害年金について

対象者：近隣障害福祉サービス事業所等

期 日：令和3年6月15日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

参加者：27名

講 師：社会保険労務士

○親亡き後・成年後見について

対象者：市内在住で知的障害がある子を持つ家族及び関係機関

期 日：令和3年11月15日

場 所：①朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）アリーナ

②動画配信

参加者：80名（①55名、②25名）

講 師：社会福祉士・行政書士

○大人の発達障害の理解と対応について

対象者：近隣障害福祉サービス事業所等

期 日：令和4年1月14日

場 所：①朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

②動画配信

参加者：32名（①24名、②8名）

講 師：埼玉県発達障害者支援センターまほろば相談員

○事例で学ぶ・障害制度の知識と連携の方法（社協出前講座）

対象者：近隣居宅介護支援事業所、在宅サービス支援事業所

期 日：令和4年3月25日

場 所：根岸台市民センター 1階ホール

参加者：30名

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和3年度 利用者数	37人	71人	206人	179人	493人
相談件数	136件	341件	741件	350件	1,568件
令和2年度 利用者数	52人	71人	228人	22人	373人
相談件数	237件	549件	554件	255件	1,595件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和 3年度契約者数	131人	88人	219人
令和 2年度契約者数	127人	72人	199人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談。 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介。 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携。 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること）。 ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援。 ◇権利擁護に関する支援等。		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
開館日数	293日	243日	293日	245日
年間利用者数	30,440人	23,467人	38,328人	28,774人
1日平均利用者数	104人	97人	131人	117人
個人利用者数	27,305人	22,396人	35,459人	26,790人
団体利用者数	538人	288人	762人	345人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
実施日数	年1回	月1回	年2回	月1回
相談件数	3件	0件	34件	0件

※「健康講座」の際に健康相談会（希望者のみ）を実施しました。

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

児童館名	開館日数		年間利用者数		1日平均利用者数	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
きたはら	292日	251日	19,947人	15,804人	68人	63人
はまさき	293日	249日	12,839人	10,972人	44人	44人
みぞぬま	293日	251日	38,444人	23,314人	131人	93人
ねぎしだい	293日	250日	19,491人	13,313人	67人	53人
ひざおり	291日	250日	20,348人	12,420人	70人	50人
ほんちょう	292日	251日	32,370人	19,287人	111人	77人
合計	1,754日	1,502日	143,439人	95,110人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、交流事業、合同事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり、ランドセル来館事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施しました。

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童

クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数（年度当初）		延べ児童数	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
本町	115人	115人	109人	111人	1,267人	1,277人
朝志ヶ丘	150人	150人	163人	163人	1,823人	1,797人
岡	122人	122人	121人	132人	1,244人	1,364人
膝折	130人	130人	106人	116人	1,080人	1,074人
栄町	135人	135人	131人	130人	1,436人	1,484人
浜崎	148人	148人	145人	145人	1,624人	1,537人
泉水	125人	125人	156人	145人	1,745人	1,496人
幸町	98人	98人	94人	98人	991人	925人
根岸台	80人	80人	69人	69人	659人	658人
溝沼	140人	140人	129人	139人	1,396人	1,393人
合計	1,243人	1,243人	1,227人	1,248人	13,265人	13,005人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等
 ※調理実習は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため中止しました。

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

令和3年度は、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ事業内容の見直しを図るなど、感染予防対策を講じながら事業を実施しました。また、生活介護事業では、利用者の障害特性等を考慮しながら、活動場所や活動内容の見直し、環境調整等を行いました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和3年度		令和2年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	11人	15人	11人
就労移行支援	8人	1人	8人	2人
就労継続支援B型	37人	27人	37人	31人
合計	60人	39人	60人	44人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援事業は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和3年度		令和2年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
8社 本会1部署	2,944,195円	9社 本会2部署	2,431,576円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和3年度		令和2年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
125回	3,997,180円	150回	3,276,926円	フレア店頭、市ブース販売、はあとぴあ、注文販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和3年度			令和2年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
16日	228人	504,986円	42日	856人	610,758円

※はあとぴあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、はあとぴあ福祉作業所と按分

※緊急事態宣言期間は、対面でのコーヒー販売を休止し、お菓子等の無人販売を実施

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会（市役所）

市内企業での社員向けパン販売会

⑤就労支援（就労移行支援事業）

一般就労に向けて実施した作業訓練や企業見学・実習を実施しました。

○企業見学：6回（一般企業、特例子会社、就労継続支援A型事業所）

○企業実習：2回（就労継続支援A型事業所）

○企業就職：1名（就労継続支援A型事業所）

⑥主な年間行事

個別面談、外出事業（日帰り課外体験研修代替事業）、音楽療法、作業療法指導、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、成人病予防事業等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ6人（彩の国ボランティア体験プログラム、社会福祉士援助技術実習、介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃や消毒、入館時の検温及び手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和3年9月26日

参加者：59人（利用者35人・職員24人）

・第2回 令和4年2月22日

参加者：60人（利用者36人・職員24人）

※例年、施設周辺の地域住民との関係性を深めることができるよう、地域の方にも参加を呼びかけていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用者及び職員のみで実施しました。

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体の状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

また、令和3年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、はあとぴあ障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。外部講師を招いての研修会には近隣市の事業所にも参加を呼びかけ、各関係機関との関係構築と連携強化を図りました。

	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和3年度契約者数	14人	60人	7人	1人	27人	109人
令和2年度契約者数	14人	56人	4人	1人	28人	103人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

9. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 令和3年6月1日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数9人（監事2人含む）
 - ・令和2年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和2年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和3年9月10日（同意書による決議の省略）
 - ・令和3年度共同募金運動の実施について
- 令和4年3月22日（同意書による決議の省略）
 - ・令和4年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和4年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止しました。

◇赤い羽根共同募金

- 強調月間：令和3年10月1日～令和3年10月31日
- 目標額：7,000,000円（令和2年度目標額：7,310,000円）
- 実績額：6,302,374円（令和2年度実績額：6,665,721円）
※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期間：令和3年11月20日～令和4年3月31日
- 目標額：4,100,000円（令和2年度目標額：4,312,000円）
- 実績額：4,440,524円（令和2年度実績額：4,357,414円）
※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会開催

新型コロナウイルス感染症対策のため、2部制にて開催しました。

日時：令和3年4月14日 ①午前10時 ②午後2時

場所：朝霞市総合福祉センター会議室

対象者：自治会・町内会長

参加者：合計28人

◇会員会費・寄付金募集

- 期間：令和3年5月1日～令和4年3月31日
- 目標額：7,761,300円（令和2年度目標額：8,149,400円）
- 実績額：5,333,842円（令和2年度実績額：5,310,758円）
（自治会・町内会：5,258,401円 個人・企業：75,441円）
※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。
- 会員の表彰：特別社員章 1法人